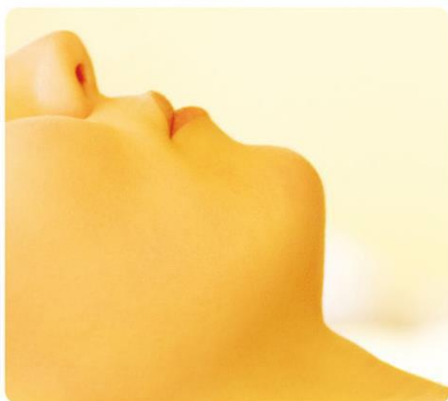




僕は5歳で迷子になった
それから25年間、ずっと探している
僕の人生の失われたカケラを――

ライオン

25年目のただいま



◆◆◆◆◆実話をもとにした感動の物語◆◆◆◆◆2017年4月公開の映画◆◆◆◆◆

日時：2018年4月8日（日）①10：30～12：30 ②14：00～16：00（開場30分前）

会場：北茨城市市民ふれあいセンター ☎：0293-42-2644（JR常磐線磯原駅下車）

入場：無料 ①・②選択のうえ、事前にお申し込みください。

募集：①、② 各回150名（定員になり次第締め切ります）

申し込み：Tel：029-224-3020 Fax：029-224-1842 Email：ozawa@ibaraki-kenren.coop

後援：北茨城市教育委員会・高萩市教育委員会

主催：茨城県ユニセフ協会（水戸市梅香1-5-5茨城県JA会館分館5F）



(C) 2016 Long Way Home Holdings Pty Ltd and Screen Australia

<ストーリー>オーストラリアで幸せに暮らす青年サルー。しかし、彼には隠された驚愕の過去があった。インドで生まれた彼は5歳の時に迷子になり、以来、家族と生き別れたまま養子に出されたのだ。成人し、自分が幸せな生活を送れば送るほど募る、インドの家族への想い。人生を取戻し未来への一歩を踏み出すため、そして母と兄に、あの日言えなかった「ただいま」を伝えるため、彼はついに決意する。「家を探し出す」と。

<日本ユニセフ協会>2017年3月13日、ユニセフハウス（東京）で特別試写会を実施。ユニセフ（国連児童基金）が全世界でその根絶に取り組む児童労働や人身売買、ストリート・チルドレンなど、子どもたちを脅かしているさまざまな問題を、5歳の少年の目を通して描いています。

監督：ガース・ディヴィス 製作：イアン・カニング『英国王のスピーチ』

出演：デヴ・パテル『スラムダンク\$ミリオネア』、ルーニー・マーラ『キャロル』、デヴィッド・ウィンハム『オーストラリア』、ニコール・キッドマン『グレース・オブ・モナコ 公妃の切り札』

原作：“25年目の「ただいま」5歳で迷子になった僕と家族の物語” サルー・ブライアリー著 船山むつみ訳（静山社刊）

配給：ギャガ GAGA★ 原題：LION/オーストラリア映画/119分/カラー/シネスコ/5.1chデジタル/字幕翻訳：戸田奈津子

★★

4/8 ユニセフ映画上映会 参加申し込み

FAX：029-224-1842

☆鑑賞希望時間帯を○で囲んでください

①午前10：30～ ②14：00～

お名前 _____

参加人数 _____ 名

ご住所 〒 _____

電話： _____

切り離さずこのままFAX送信してください

ご記入の情報は「ユニセフ映画上映」参加者把握のためにのみ使用します。